

# 5

令和元年度

# 大学連携医療フォーラム

多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プランでは、医療関係従事者、教育研究者、学生を対象として、高度がん医療を先導するがん医療人養成を目指し、また、がん医療の一層の充実・発展を進めるため、5大学連携（京都大学・三重大学・滋賀医科大学・大阪医科大学・京都薬科大学）「医療フォーラム」を開催いたしますので、ご参加よろしくお願いたします。

## 総合司会

京都大学 医学研究科 教授 溝脇 尚志

## 開会のあいさつ

14:20~14:25

がんプロ事業推進責任者 京都大学 医学研究科 教授 武藤 学

## 第Ⅰ部「特別講演」

14:25~14:55

「iPS細胞から再生したT細胞とカニクイザルを用いたがん免疫療法の開発」

滋賀医科大学 医学系研究科 生化学・分子生物学講座 教授 縣 保年

## 第Ⅱ部「がんプロ履修生による研究成果発表」

15:00~16:45

「Setdb1はp53発現制御を介してアポトーシスを  
阻害することにより膵臓癌の形成に必要である」

京都大学（プレジジョンメディスンに対応できる  
がんゲノム医療従事者養成コース）博士課程4年 小川 智  
（司会 医学研究科 助教 福田 晃久）

「横紋筋肉腫に対する新規分子標的治療の研究」

京都大学（小児とAYA世代のがんの新規診断・  
治療法開発を目指す医療人養成コース）博士課程3年 緒方 瑛人  
（司会 医学研究科 講師 平松 英文）

「小児脳腫瘍患児の精神・認知機能および適応行動に関する調査研究」

京都大学（がんの病期やライフステージに応じた戦略を構築できる  
リハビリテーションスタッフの養成）平成30年7月修了生 田畑 阿美  
（司会 医学研究科 教授 青山 朋樹）

「患者の死による看護師の落ち込みからの回復とレジリエンスとの関連」

三重大学（地域包括ケアのもとでライフステージに対応した  
がん医療を担う看護師養成コース）平成31年3月修了生 向井 綾香  
（司会 医学系研究科 教授 辻川 真弓）

「膵癌における癌線維芽細胞の多様性と臨床的意義」

滋賀医科大学（ライフステージに応じたがん集学的治療と  
全人的診療を担う医療従事者養成コース）博士課程4年 前平 博充  
（司会 医学系研究科 教授 谷 眞至）

「体性幹細胞を用いたバイオドラッグデリバリーシステム  
による新規癌治療法の開発」

大阪医科大学（ライフステージに応じた化学療法専門医養成コース）博士課程4年 青木 雅彦  
（司会 附属病院 化学療法センター長 後藤 昌弘）

「多発性骨髄腫に対するレナリドミド血中濃度測定による有効性と安全性の検討」

京都薬科大学（ライフステージに応じた個別化がん治療における  
全人的医療に貢献するがん専門薬学師養成コース）博士課程4年 角 陽子  
（司会 薬学研究科 教授 芦原 英司）

## 第Ⅲ部「がんプロ提供プログラムの参加報告」

16:50~17:25

5大学連携 海外合同教育セミナー

（平成29年度）MDACC 2017

大阪医科大学（ライフステージに応じた化学療法専門医養成コース）博士課程3年 由上 博喜

（令和元年度）WIN Symposium 2019

京都大学（プレジジョンメディスンに対応できる  
がんゲノム医療従事者養成コース）博士課程4年 三谷 洋介

5大学連携 学生短期研修プログラム（平成30年度）

ゲノム医療コース

京都大学（婦人科腫瘍におけるゲノム医療従事者養成コース）博士課程4年 浮田真沙世

小児がん/AYA世代コース

京都薬科大学（ライフステージに応じた個別化がん治療における  
全人的医療に貢献するがん専門薬学師養成コース）博士課程1年 今吉 菜月

緩和ケアコース

三重大学（ライフステージに応じた放射線治療・  
集学的診療を実践する人材養成コース）博士課程2年 大森 千輝

## 閉会のあいさつ

17:25~17:30

滋賀医科大学コーディネータ 医学系研究科 教授 醍醐弥太郎

日時

令和元年 9月20日(金) 14:20~17:30

場所

京都大学医学部構内「芝蘭会館」2階 稲盛ホール

定員 150名（入場料無料）

連絡先等

京都大学がんプロ事務局  
Tel: 075-753-4654 E-mail: 060ganpro@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

